



健口ニュース

小林歯科

0533-82-0555

保険と自費の違い

少ない費用負担で治療が受けられる保険診療

日本の保険診療は大変充実しており、歯に問題が起った際は、加入している保険で決められた割合の費用負担で様々な治療が受けられます。しかし、保険診療は歯の痛みを取り除いたり、歯を削って被せ物をしたり、というような症状の改善や機能の回復を目的としているため、使用する材料や治療内容のルールも事細かく決められており、その内容以外のことを行うことはできません。そのため、審美的な面では「差し歯の色が不自然」「入れ歯のパネが見える」など、満足いかない場合もあります。



隣の歯に比べると不自然な感じが...



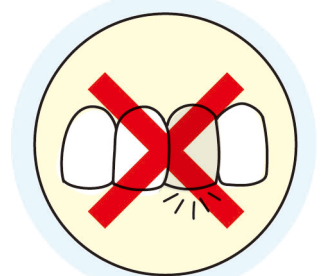
入れ歯のパネが見える

自分に合った最適な治療が受けられる自費診療

自費診療は保険診療のような細かな制約はありません。そのため、病気の治療に対しても、治療方法、材料、治療技術などの選択肢が広がり、一人ひとりに合った最適な治療が受けられます。また、病気以外の治療、例えば歯をより美しく見せる審美治療や歯の健康を増進する予防のための診療なども受けることができます。



治療のついでに歯を白くしたい



将来を考えると丈夫で変色しない素材がいいな



金属アレルギーが心配だから金属を使わない治療で



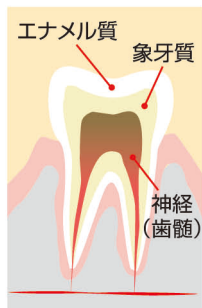
ブリッジとインプラント、どっちがいいかなあ

神経をとった歯がある方はご用心！



むし歯で痛みがある時など「歯の神経をとります」といった言葉を使いますが、正しくは歯髄(しずい)といって神経や細かい血管の集まりです。歯髄は象牙質に栄養を送ったり、細菌が歯の内部に侵入しようとするのを防ぐ働きをします。

このように歯髄には大切な役割があるのですが、むし歯などで歯髄が炎症を起こして痛みが出ると、歯髄を取ることになります。歯髄を取れば神経もなくなるため痛みはとれますが、右記のような点に注意が必要です。



注意点

歯髄を取った歯は、木が枯れていくように年月の経過とともにもろくなります。



また再度むし歯になってしまった場合、痛みを感じないため気づいた時にはむし歯が進行しているといったことがあります。

